

か ぞ 【書き初め】



きよねん すみだく か ぞ てん
去年の「墨田区・書き初め展」



よんあずしよう か ぞ てん
四吾孺小の「書き初め展」

か ぞ れきし 「書き初め」の歴史



へいあんじだい きつしよ そう ねんまえ
平安時代「吉書の奏」(1200年前)
てんのう まえ ことし もくひよう か ぎしき
天皇の前で、今年目標などを書く儀式。



きゆうちゆうぎようじ
【宮中行事】
しほうはい
ひだり：四方拝
ぎよくすい うたげ
みぎ：曲水の宴



え だ じ だ い 江戸時代

てらこや か ぞ
寺子屋「書き初め」

がつふつか ことはじ
1月2日：事始め

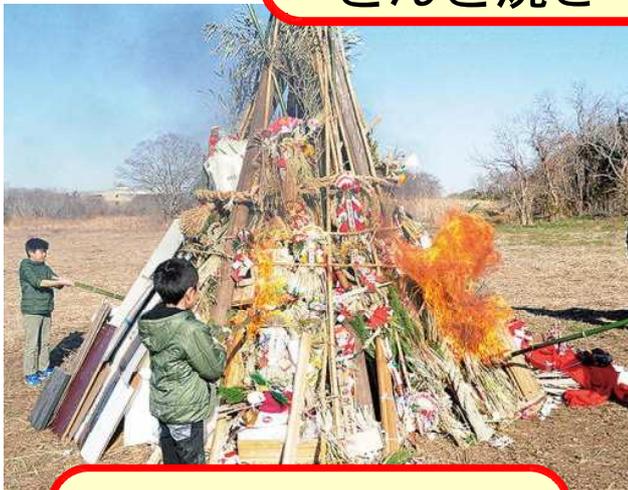
→じょうずになる！



ねんまえ か ぞ ふうけい
100年前の書き初め風景



や がつ にち
どんど焼き (1月15日ごろ)



しょうがつかざ まつかざ
お正月飾り (松飾り・
なわ も
しめ縄など) を燃やす。

ほのお たか
炎が高くあがるほど、
もじ じょうたつ
文字が上達する？

か ぞ
【書き初めのヒミツ】

か ぞ きゆうちゆうぎよう じ きぞく ぎよう じ
◇書き初めは宮中行事 (貴族の行事) だった。

え ど じ だい
◇江戸時代からさかんになった。

◇「どんど焼き」で燃やす。

→字がじょうずになるといわれている!?